

2024年度 最終学年(卒業予定者)アンケート【国際教養学部】集計結果

このアンケートは、最終学年の学生を対象に「意欲」「成長実感・満足度」を問うものです。

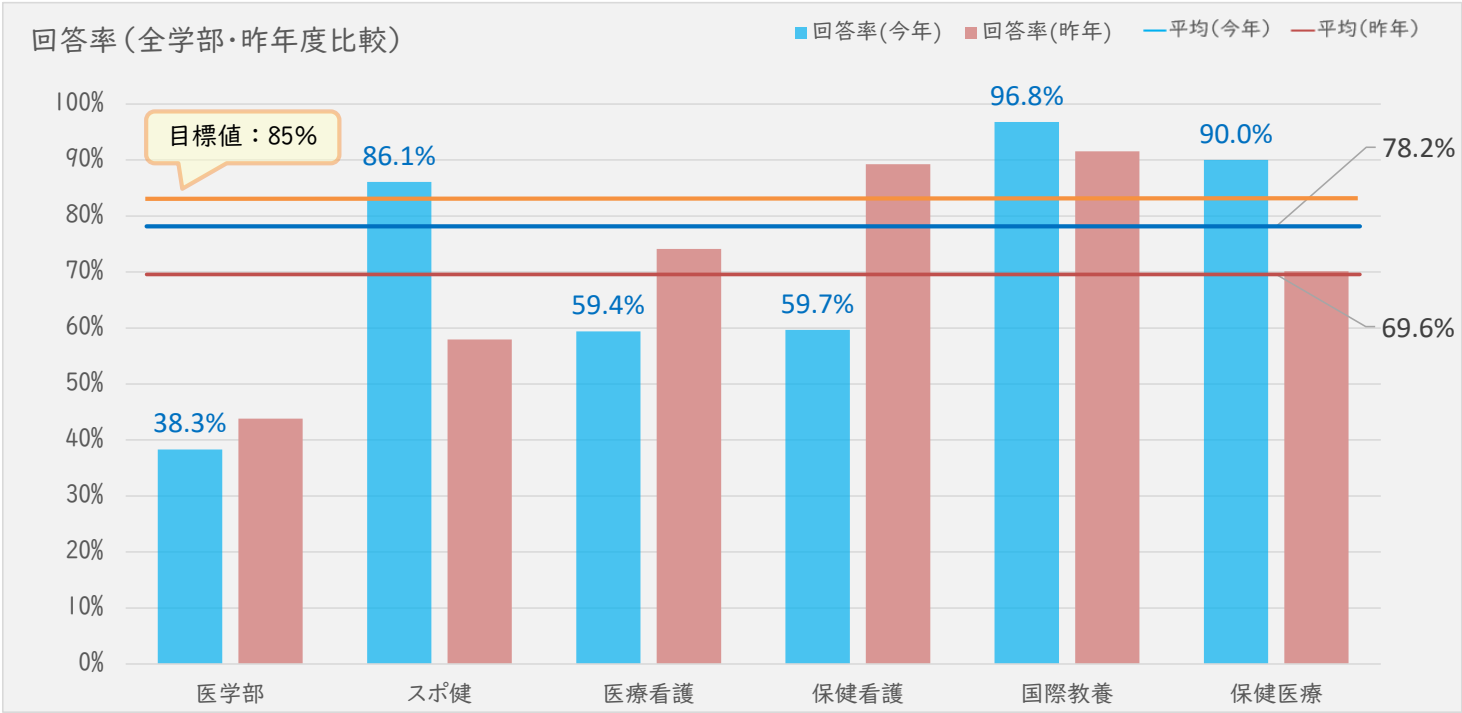
- 実施期間：2024年12月13日～2024年12月20日
- 対象学生：アンケート開始時点で在籍している最終学年の年生（※休停学、留学中の学生は除く）

■ 回答率

最終学年アンケート (卒業予定者)	今年度								昨年度		
	回答率	(昨年比)	許容誤差*	回答者	(昨年比)	未回答者	対象者	(昨年比)	回答率	回答者	対象者
医学部	38.30%	(-5.50%)	10.48%	54名	(-6名)	87名	141名	(+4名)	43.80%	60名	137名
スポーツ健康科学部	86.10%	(+28.17%)	1.62%	508名	(+267名)	82名	590名	(+174名)	57.93%	241名	416名
医療看護学部	59.39%	(-14.74%)	5.77%	117名	(-32名)	80名	197名	(-4名)	74.13%	149名	201名
保健看護学部	59.66%	(-29.59%)	7.39%	71名	(-37名)	48名	119名	(-2名)	89.26%	108名	121名
国際教養学部	96.80%	(+5.25%)	1.20%	212名	(+6名)	7名	219名	(-6名)	91.56%	206名	225名
保健医療学部	90.04%	(+19.91%)	2.14%	208名	(+53名)	23名	231名	(+10名)	70.14%	155名	221名
★全学部合計(平均)	78.16%	(+8.59%)	1.34%	1170名	(+251名)	327名	1497名	(+176名)	69.57%	919名	1321名

※ 許容誤差：信頼水準95%の場合、母集団からどの位の誤差が生じているかを表す指標（推奨目安：5%以内）

※ 表内色種：上位1項目：緑背景、平均以下：赤背景



□ 設問内容・目次

1. 意欲に関する設問

1_01. 卒業後の仕事や進学に対し、どのように思っていますか。（複数選択可）

2. 成長実感・満足度に関する設問

2_01. 大学生活を振り返って、満足していますか。【全学部共通】

2_02. 大学生活で経験してよかったことは何ですか。

2_03. 大学生活でやり残したことや後悔があれば、それはどのようなことですか。【全学部共通】

2_04. 以下は、国際教養学部のディプロマ・ポリシーです。それぞれ、身につけているかどうか、自己評価してください。

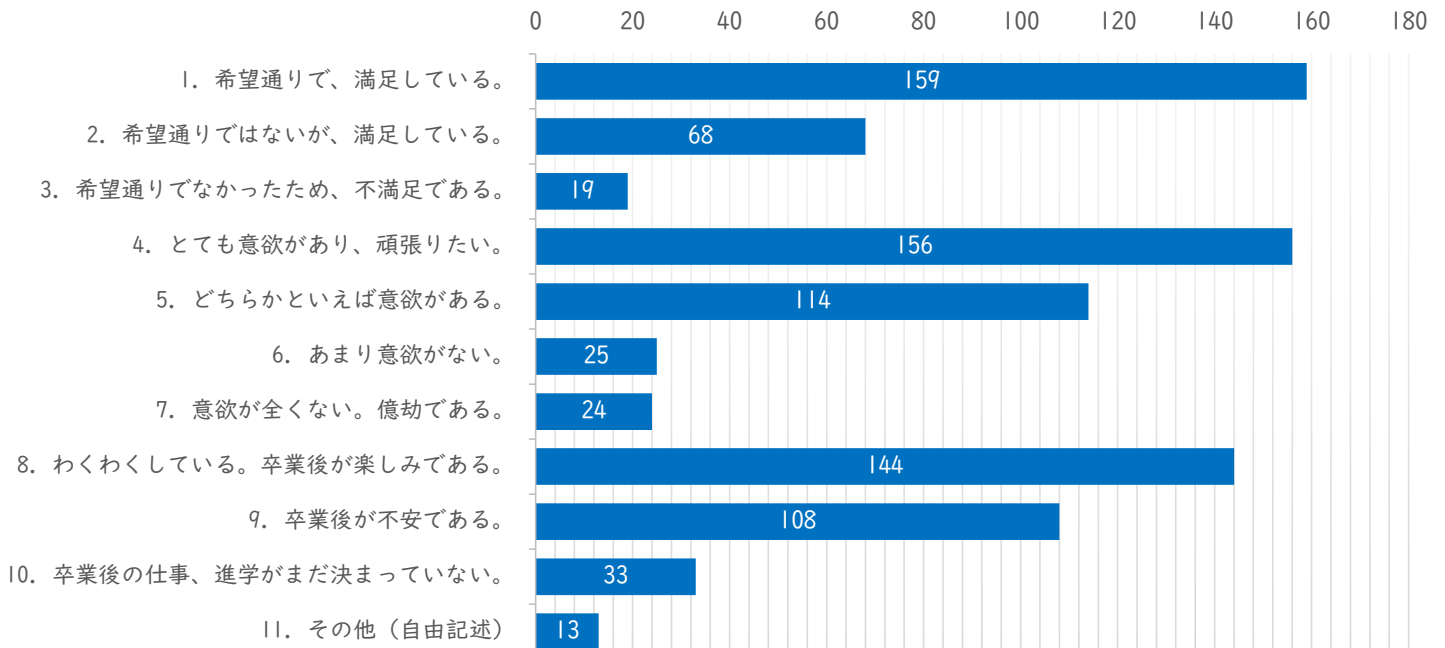
■ アンケート結果

※グラフ中の数値は回答数

【1. 意欲に関する設問】

Q1-01. 卒業後の仕事や進学に対し、どのように思っていますか。(複数選択可)

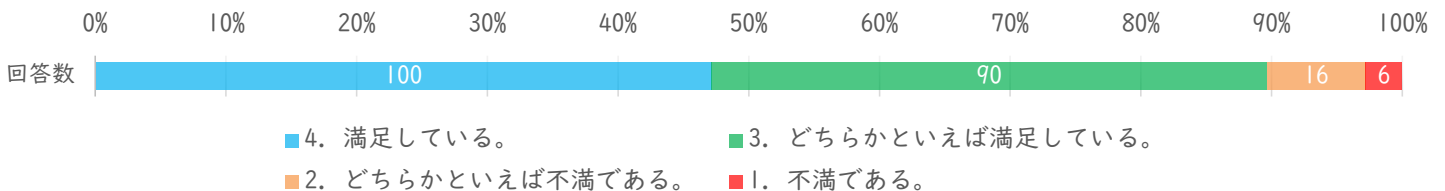
※学部別



【2. 成長実感・満足度に関する設問】

Q2-01. 大学生活を振り返って、満足していますか。また、差し支えなければその理由を、入力欄へ記入してください。

※共通



【その他(自由記述回答)・抜粋】

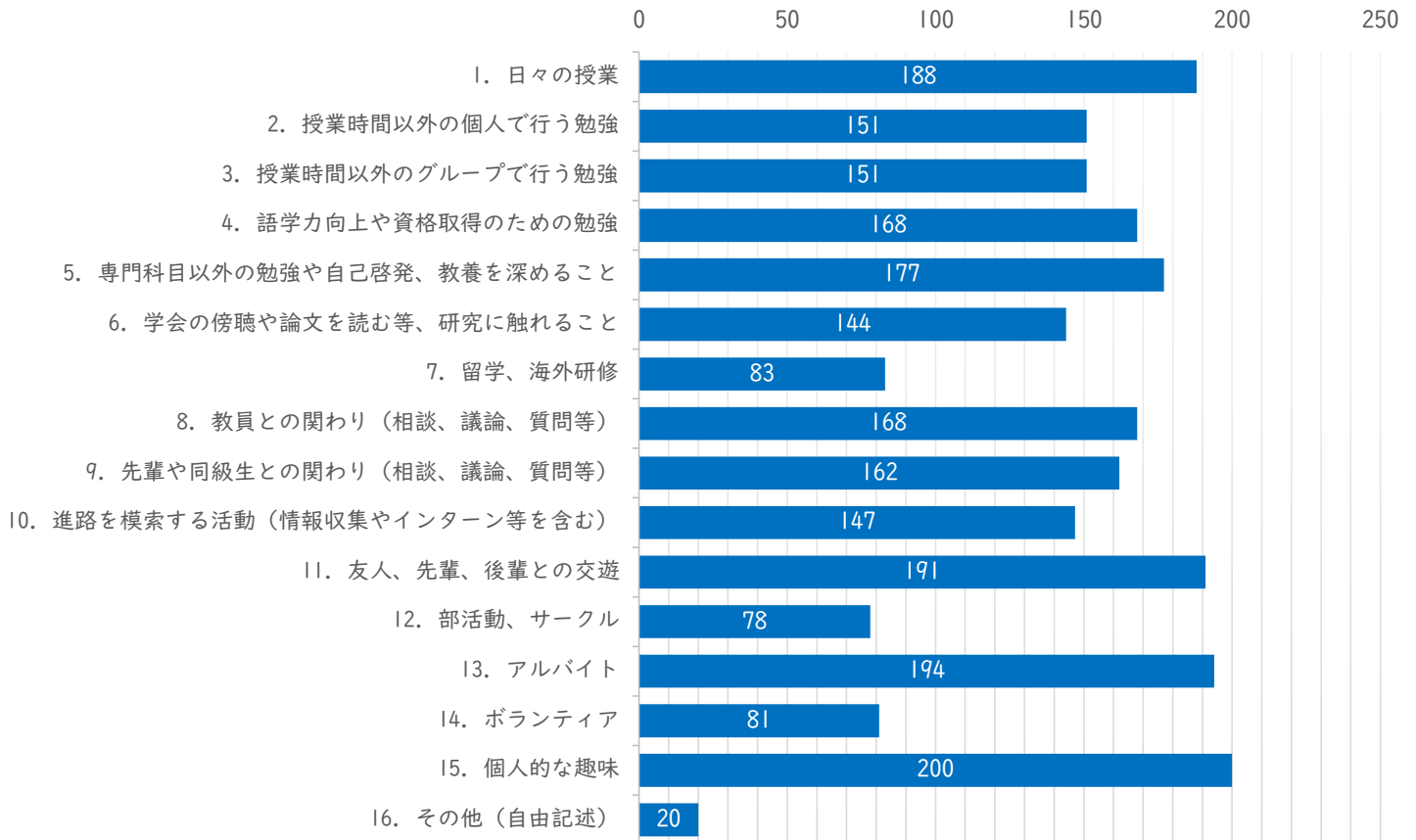
- ・自分のやりたいことを見つけることのできた大学生活でした
- ・ゼミナール活動など、多くの人と関わる機会を得ることができたため、貴重な時間になったと感じている
- ・勉強もたくさんでき、良い友人とも出会えたから
- ・満足のいく就職活動ができたため
- ・ここに通わなかったら、学べなかったことや経験できなかったことがたくさんあるから
- ・様々な人に出会えて、良い環境で過ごすことが出来たから
- ・良い人間関係を築くことが出来たと共に自分の希望する進路先も決定したため
- ・海外研修や語学研修のプログラムを通して様々な経験に繋がったため
- ・興味のある研究分野を見つけ、同級生や他大学との交流をしながら研究を終えることができたから
- ・様々な友人や先生方と出会い、たくさんの学びや経験を積んだことで、非常に満足しています
- ・良い先生や教授に恵まれて4年間を過ごすことができた
- ・自由に使える時間が沢山あったため、自分の興味のある分野の勉強やアルバイトなどで色々な経験を積むことができたため
- ・いろいろなことがあったが、その時は大変でも、今では全て思い出になっている
- ・小中高大の中で、一番勉強が楽しいと思えたから
- ・仲の良い友達もでき、大変ではあったがそれも振り返れば楽しく、最後の学生生活を楽しむことができたから

【2. 成長実感・満足度に関する設問】

(続き)

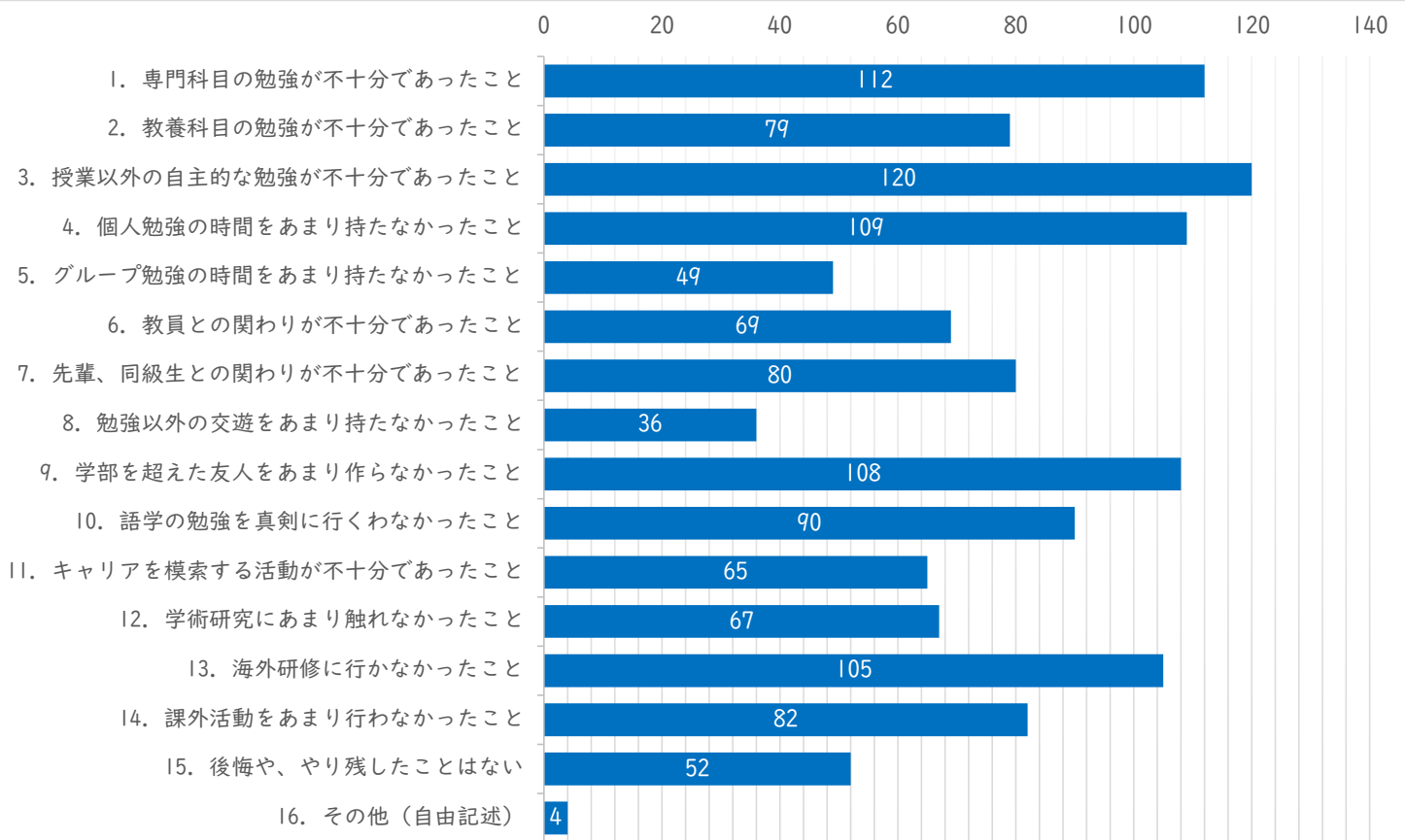
Q2-02. 大学生活で経験してよかったことは何ですか。(複数選択可)

※学部別



Q2-03. 大学生活でやり残したことや後悔があれば、それはどのようなことですか。(複数選択可)

※共通



【2. 成長の実感に関する設問】

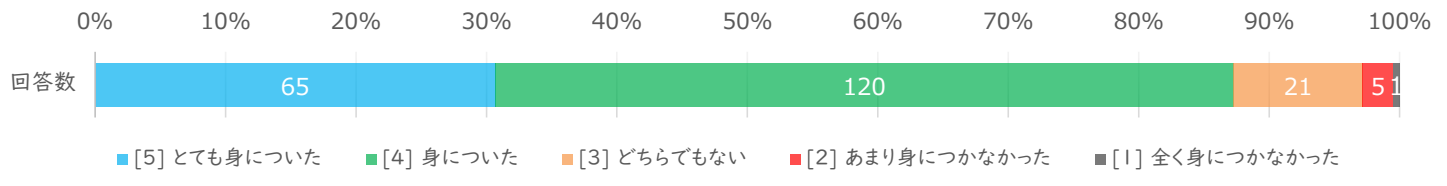
(続き)

Q2-04. 以下は、国際教養学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）です。

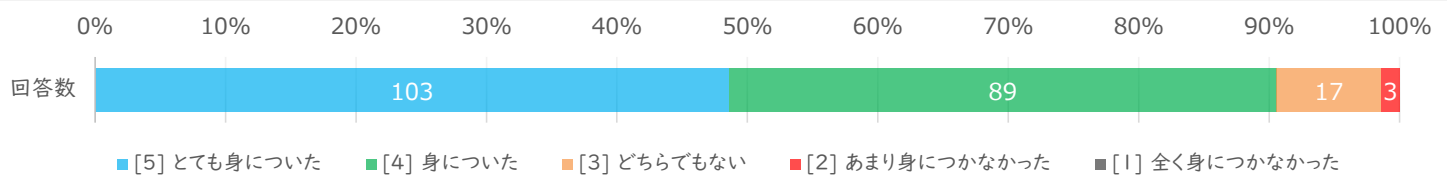
※学部別

それぞれ、身につけているかどうか、自己評価してください。

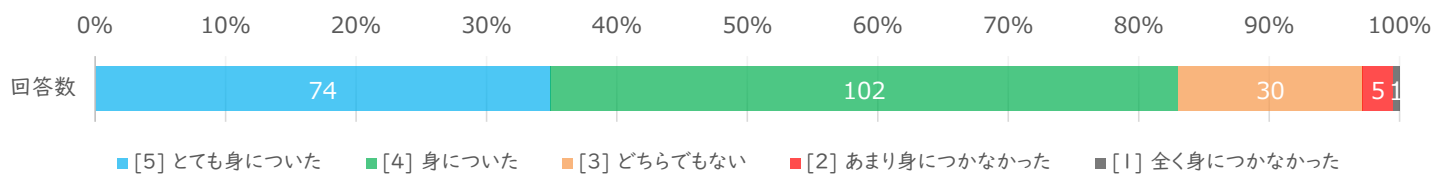
① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力



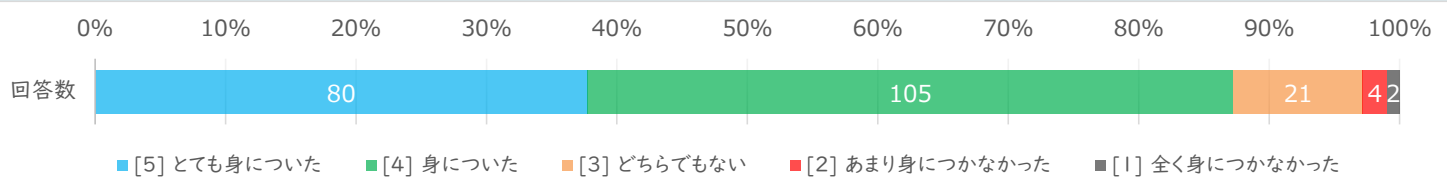
② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力



③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力



④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力



End